

施策番号	2501		
施策名	幹線道路ネットワークの充実		
概要	円滑なひとの移動，物流を支える幹線道路ネットワークの整備を推進する。特に，災害などの緊急時に傷病者の搬送，物資の輸送に必要な緊急輸送路の確保など市民が安心できる安全な道づくりを推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部，道路建設部，事業推進室	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市・京北町合併建設計画		

施策の評価

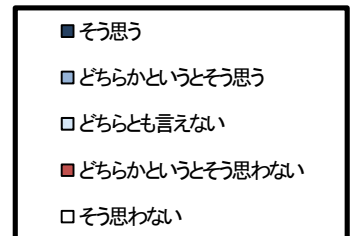
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1 第1次緊急輸送路における都市計画道路の整備延長(km)	-	a	1.25	0.19	0.20	95.0%	a	1.00
2 第1次緊急輸送路における道路改良延長(km)	-	c	0.49	0.99	1.31	75.6%	b	1.00
3 緊急輸送路における橋りょう耐震補強率(%)	-	-	49.2	52.5	3.3ポイント増	100.0%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1 災害時も安全に移動できる道路網ができています。	26	92	199	122	71	510	c
	5.1%	18.0%	39.0%	23.9%	13.9%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、道路完成に至るまでは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標1について、都市計画道路の整備延長が進んだことからa評価となった。 ・客観指標2について、栗尾トンネルの事業が進捗したことからb評価となった。 ・客観指標3について、「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、23年度から取組を開始。計画どおりに進ちよくしており、a評価となった。 ・市民生活実感調査については、「どちらとも言えない」が約4割を占め、c評価となったが、客観指標評価では高評価を得ていることから、事業そのものは一定進ちよくしているため、事業の成果が実感されにくいことがc評価となった一因であると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・災害などの緊急時に傷病者の搬送、物資の輸送に必要な緊急輸送ルート確保など、市民が安心できる安全な道づくりを推進するため、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、橋りょうの計画的な耐震補強を実施していく。同時に、道路における落石や斜面崩壊を防止する災害防除対策等、防災・減災対策の重点化も図る。

・必要な予算を確保するため、「道路整備事業の見直し」を掲げ、事業の見送り、平準化を行うとともに、完成間近な路線は重点的に推進するなど、選択と集中による精査、事業スケジュールの抜本的な見直しを行い、メリハリを付けた取組を推進する。

施策名	2501	幹線道路ネットワークの充実					
指標名	第1次緊急輸送路における都市計画道路の整備延長 (km)						
担当課	事業推進室	連絡先	213-3659				
1 指標の説明							
災害などの緊急時に他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線（第一次緊急輸送路）における都市計画道路の整備延長							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
真に必要な緊急輸送路における都市計画道路の整備状況を示す指標			算出方法：(執行事業費÷総事業費)×計画総延長 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	1.25	0.19	1.06km減	0.20	当該年度の目標整備延長の達成を目指す。	95.0%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度		根拠	
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
単年度目標に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満			都市計画道路の整備延長を総事業費に係る執行事業費の割合に計画総延長を乗じて算出し、当該年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。		23	24	
					-	a	a

指標名	第1次緊急輸送路における道路改良延長 (km)						
担当課	道路建設課 事業推進室	連絡先	222-3577 213-3659				
1 指標の説明							
災害などの緊急時に他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線（第一次緊急輸送路）における道路改良延長（都市計画道路を除く）							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
真に必要な緊急輸送路における改良率を示す指標			算出方法：(執行事業費÷総事業費)×計画総延長 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	0.49	0.99	0.5km増	1.31	当該年度の目標整備延長の達成を目指す。	75.6%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度		根拠	
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
単年度目標に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満			道路改良延長を総事業費に係る執行事業費の割合に計画総延長を乗じて算出し、当該年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。		23	24	
					-	c	b

施策名	2501	幹線道路ネットワークの充実				
指標名	緊急輸送路における橋りょう耐震補強率（％）					
担当課	調整管理課	連絡先	2 2 2 - 3 5 7 7			
1 指標の説明						
他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線の橋りょう耐震補強完了率						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
安心・安全な幹線道路ネットワークが形成されていることを示す指標			算出方法：実施済み橋りょう数÷実施対象橋りょう数 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		達成度
数値	49.2	52.5		3.3ポイント増	数値	
				3.3ポイント増	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために必要な当該年度の進捗割合	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		100	28年度	52.5%	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」第1期プログラム（H24～H28）に掲げる14橋全てを耐震補強	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		・緊急輸送路上の耐震補強が必要な橋りょうに対する耐震補強完了率。 ・単年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。			23	24
				-	-	a